

■8月5日

JNTO、ジャカルタに事務所開設、訪日成長市場を強化

日本政府観光局(JNTO)は2日、10月にもインドネシアの首都ジャカルタに事務所を開設すると発表した。同国は2010年の人口が約2億4000万人と東南アジア諸国連合(ASEAN)域内で最大で、昨年には訪日旅行者数が初めて10万人を突破。成長市場とにらみ、日本への観光のPR活動などを強化する。

JNTOは現在、上海やロンドン、パリ、ニューヨークなど計13カ所に海外事務所を展開。インドネシアは従来、シンガポールの事務所が管轄していた。

(産経ニュース)8/2

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/130802/plc13080216560026-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/130802/plc13080216560026-n1.htm>)

NAA、成田空港、LCC専用ターミナル、駐機スペース14機計画案を提示

成田国際空港会社は4日、成田空港に建設を予定している格安航空会社(LCC)専用ターミナルの駐機スペースを4機分増設して計14機分にする計画案を発表した。地元住民の説明会で明らかにした。

読売新聞によると、当初案の駐機スペースは10機だったが、北側の約6・8ヘクタールを新たに買収して拡大したうえ、空港内で使用する各種車両の置き場などを新駐機スペースに充て、誘導路も設ける。同ターミナルは2014年度中に完成予定で、開設時は当初計画の10機分でスタートする見通し。

同社経営計画部は「LCCへの期待を込めて増設計画を決めたが、それでも足りなくなるかもしれない。増設は地元との交渉次第で、時期は未定」としている。

(読売新聞)8/5

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/chiba/news/20130804-OYT8T00867.htm> (-> [http://www.yomiuri.co.jp/e-](http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/chiba/news/20130804-OYT8T00867.htm)

[japan/chiba/news/20130804-OYT8T00867.htm](http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/chiba/news/20130804-OYT8T00867.htm))

松山—松山空港(台湾)、チャーター便10月に運航

台湾の松山(しょうざん)空港と松山空港を結ぶチャーター便が10月11日に就航することが分かった。運航する航空会社チャイナエアライン。

愛媛新聞によると、チャイナエアラインの孫会長は愛媛県松山市のホテルで3日夜行われた歓迎レセプションのあいさつで「10月11、14日に松山—松山便を就航する」と述べた。チャーター便を増やして繁忙期には定期的に運航し、定期便を目指す考えを示した。

(愛媛新聞)8/4

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20130804/news20130804324.html> (-> [http://www.ehime-](http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20130804/news20130804324.html)

[np.co.jp/news/local/20130804/news20130804324.html](http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20130804/news20130804324.html))

お盆期間、航空各社、予約状況、国内線、前年同期比7.7%増、国際線、同7.6%増

航空会社各社は2日、お盆期間(8月9日～18日)の予約状況を発表した。国内線では、主要14社の合計提供座席が429万1,682席で前年同期比7.7%増、予約者数は283万9,685人で同13.1%増加した。予約率は66.1%で、前年の62.8%から3.3ポイント上昇した。

国際線は、5社の合計で提供座席が前年同期比7.6%増加の58万3,157席、予約者数は51万6,679人で8.8%増加した。予約率は88.6%、前年よりも1ポイント上がっている。

一方、国内LCC3社は、各社が供給を1.5倍～4倍に増加。予約数は、ピーチやエアアジア・Jは供給増にほぼ対応した伸びとなっているが、ジェットスター・Jはやや低調だ。また、昨年はピーチ、ジェットスター・J、エアアジア・Jの順に予約率が高かったが、今年はエアアジア・Jの予約率が83%と、最も高い数字となっている。

	ピーチ	ジェットスター・J	エアアジア・J
国内線 提供座席数	8万2,080席(207%)	12万6,00席(436%)	3万2,400席(150%)
予約数	6万4,656人(182%)	7万9,330人(318%)	2万6,883人(151.4%)
L/F	78.8%	63%	83%
国際線 提供座席数	2万1,600席(150%)		1万8,000席
予約数	1万8,987人(164%)		1万3,135人
L/F	87.9%		73%

(日刊航空)8/5

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(航空各社 プレスリリース)

お盆期間、道内発着路線、前年実績昨年を上回る

全日空や日航など航空5社は2日、お盆期間(9~18日)の道内発着路線の予約状況を発表した。予約数は全社が前年実績を上回り、予約率もAIRDOを除く4社が上昇した。主力の新千歳—羽田線などは全日空が13%増、日航が9%増と好調だった。

全路線の予約数では全日空が10%増、日航が8%増のほか、AIRDOは7%増、スカイマークは13%増だった。北海道エアシステム(HAC)は一部路線から撤退したため提供座席数は減ったが、予約数は29%増えた。

また、AIRDOやスカイマークは新規に開設した路線が需要を底上げた。HACは丘珠—利尻、丘珠—三沢線が好調だった。

(日経)8/3

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0200L_S3A800C1L41000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0200L_S3A800C1L41000/)

お盆期間、沖縄関連発着路線、予約数、前年同期比7.6%増

沖縄関係路線を就航する国内航空5社は3日までに、お盆期間(9~18日)の予約状況を発表した。予約数は前年同期比7.6%増の65万6372人、提供座席数は3.5%増の86万1222席となった。

琉球新報取り纏め位による各社予約状況は以下の通り

- ・全日空の予約数は3.1%増の24万3065人。お盆休み期間中に5便の臨時便を運航するなど、提供座席数は1.1%増の30万6260席となった。主要路線の那覇—羽田線は前年とほぼ横ばいだが、石垣路線などが全体を押し上げた。

- ・日航は0.6%減の10万8760人で、提供座席数は2.8%増の13万7740席となった。主要路線の那覇—羽田線は2.3%増の9万1213人となったが、関西路線を日本トランスオーシャン航空(JTA)へ移管したため、全体で微減となった。

- ・JTAは4.0%減の8万3984人。石垣—与那国線を琉球エアコミューター(RAC)へ移管したため、提供座席数は9.5%減の11万4100席。石垣—羽田線などが前年を下回った。

- ・RACは48.7%増の1万168人、提供座席数は15.9%増の1万7090席となった。

- ・スカイマークは23.4%増の21万395人。石垣と那覇、成田、神戸を結ぶ新規3路線の開設で提供座席数は12.5%増の28万6032席となった

(琉球新報)8/4

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-210517-storytopic-4.html> (-> <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-210517-storytopic-4.html>)

エティハド航空、JAT航空の株式49%取得、資本参加6社目

エティハド航空は、セルビアの国営航空会社であるJAT航空の株式の49%を取得する計画だ。セルビア政府と戦略的パートナーシップの構築で同意したもので、JAT航空の社名を「エア・セルビア」に変更し、機体デザインなどブランディングも刷新。新社名のもと、5年間にわたってEYがマネージメントをおこなう。トラベルビジョンが報じた。

エティハド航空は他社への資本参加を成長戦略の柱の一つとして位置づけており、これまでにエアベルリン、エアセイシェル、ヴァージン・オーストラリア、エアリングスの4社について2.99%から40%の株を保有。また、ジェットエアウエイズも24%の株式取得で合意関係機関の承認を待っているところで、JAT航空は資本参加する6社目の航空会社となる。

(トラベルビジョン)8/4

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58483> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58483>)